

**長野大学の公立大学法人化に関する
市民懇談会資料**

「長野大学に関する基礎データ集」

平成 28 年 4 月 27 日（水）

長野大学

- 目 次 -

・ 大学の概要	P 1～ 6
1. 大学の現状、沿革	
(1) 所在地	
(2) 学部構成	
(3) キャンパスの規模	
(4) 学生数、教員数、職員数	
(5) 沿革	
(6) 財産概要	
(7) 学生納付金	
2. 年次別志願者・入学者・在学生の状況	
(1) 昭和 41 年以降から現在までの年次別志願者・入学者・在学生の状況	
(2) 長野県内高校出身者の推移（過去 3 年間）	
(3) 上田地域定住自立圏構成市町村出身者の推移（過去 3 年間）	
(4) 編入学生の入学状況（過去 3 年間）	
3. 長野県内、上田市内への就職状況	
・ 各学部の取り組み	P 7～ 13
社会福祉学部	
環境ツーリズム学部	
企業情報学部	
・ 長野大学の地域貢献活動	P 14～ 18
(参考) 新聞記事紹介	P 19～

．長野大学の概要

1．長野大学の現状・沿革

(1) 所在地

所在地	〒386-1298 長野県 上田市 下之郷 658 番地 1
-----	--------------------------------

(2) 学部構成

学部	学科	定員	定員 (3年次編入学)	収容定員
社会福祉学部	社会福祉学科	150名	15名	630名
環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科	75名	10名	320名
企業情報学部	企業情報学科	75名	10名	320名
計		300名	35名	1,270名

(3) キャンパスの規模

敷地面積	138,670.35 m ²	校舎、運動場、教員宿舎、 세미나 - ハウス、その他敷地
校舎面積 (延床面積)	19,148.09 m ²	1号館～9号館、学生部室等その他敷地

(4) 学生数、教員数、職員数

学生数(平成28年4月1日現在)

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	合計
社会福祉学部	160	148	134	124	566
環境ツーリズム学部	85	101	82	111	379
企業情報学部	91	102	100	110	403
合計	336	351	316	345	1,348

教員数(平成28年4月1日現在)

学部	教授	准教授	助教	専任(計)	兼任講師
社会福祉学部	14	8	4	26	32
環境ツーリズム学部	8	5	3	16	30
企業情報学部	9	2	2	13	17
合計	31	15	9	55	79

職員数（平成28年4月1日現在）

区分	専任職員	臨時職員	合計
人数	38	16	54

（５）沿革

年月日	学校法人・学校・学部・学科・課程等の新增設等
昭和41年3月30日	2号館（教室棟）竣工
昭和41年4月1日	本州大学経済学部経済学科を開設
昭和42年3月30日	1号館（管理棟・階段教室棟）竣工 本州女子短期大学校舎竣工
昭和42年4月1日	本州女子短期大学幼児教育科を開設
昭和45年5月	3号館（研究棟）着工
昭和47年9月24日	昭和48年度経済学部の学生募集の停止を決定
昭和48年3月31日	本州女子短期大学を分離し経営を他に移譲
昭和49年4月1日	法人名を長野学園に、大学名を長野大学に改称し、産業社会学部を開設
昭和52年3月31日	7号館（附属図書館（現）国際交流センター）竣工
昭和52年2月28日	8号館（体育館）竣工
昭和55年10月2日	5号館（大学会館）竣工
昭和58年4月30日	4号館（教室棟）竣工
昭和63年4月1日	産業社会学部に産業情報学科を増設
昭和63年5月	6号館（情報システム研究所）竣工
平成9年8月31日	9号館（附属図書館）竣工
平成14年4月1日	社会福祉学部開設
平成19年4月1日	環境ツーリズム学部、企業情報学部開設
平成28年11月1日	創立50周年を迎える

（６）財産概要（平成26年度末）

内訳	金額（円）	備考
基本財産	2,383,917,910円	土地、建物、構築物、図書、教育研究用機器備品等
運用財産	5,400,761,198円	現金預金、減価償却引当特定資産、施設拡充引当特定資産、退職給与引当特定資産等
負債	694,447,163円	固定負債（退職給与引当金）、学生納付金前受金等
正味財産	7,090,231,945円	

(7) 学生納付金

(平成 28 年 4 月 1 日現在)

区 分	金 額 (円)	
	1 年次	2 ~ 4 年次
入学金	180,000	-
授業料	580,000	580,000
施設費	220,000	220,000
研究演習費	90,000	90,000
合計	1,070,000	890,000

2. 志願者・入学者・在学生の状況

(1) 昭和41年以降から現在までの年次別志願者・入学者・在学生の状況

年次別志願者・入学者・在学生の状況 (本州大学・長野大学)												
	年度		入学	志願者		合格者	入学者			在学生		
	西暦	和暦	定員	合計	内県内	合計	合計	県内	上田市	合計	県内	上田市
本州大学	1966	41	200	152	-	-	115	-	-	1,127	-	-
	1967	42	200	158	-	-	142	-	-	258	-	-
	1968	43	200	144	-	-	103	-	-	349	-	-
	1969	44	200	89	-	-	75	-	-	407	-	-
	1970	45	200	87	-	-	69	-	-	351	-	-
	1971	46	200	108	-	-	81	-	-	302	-	-
	1972	47	200	88	-	-	68	-	-	275	-	-
	1973	48	-	学生募集停止						198	-	-
長野大学	1974	49	100	166	93	-	118	69	-	238	-	-
	1975	50	100	434	150	-	227	88	-	396	-	-
	1976	51	200	743	218	-	275	76	-	617	-	-
	1977	52	200	729	189	-	311	95	-	908	333	-
	1978	53	200	891	183	-	343	79	-	1,146	345	-
	1979	54	200	944	182	-	324	77	-	1,261	339	-
	1980	55	200	971	174	-	342	83	-	1,319	338	-
	1981	56	200	816	147	-	384	85	-	1,384	325	-
	1982	57	200	912	142	-	349	75	-	1,385	310	-
	1983	58	200	872	153	-	364	79	-	1,423	317	-
	1984	59	200	955	181	-	373	89	-	1,452	320	-
	1985	60	200	752	130	-	383	80	-	1,465	325	-
	1986	61	200	869	170	-	372	83	-	1,479	332	-
	1987	62	200	1,196	265	-	205	65	-	1,326	319	-
	1988	63	300	1,508	327	-	336	117	-	1,304	354	-
	1989	平成1	300	2,358	388	-	363	80	-	1,309	347	-
	1990	2	300	2,946	455	-	355	93	-	1,444	364	-
	1991	3	300	3,932	486	-	385	73	-	1,478	368	-
	1992	4	300	3,497	440	-	394	65	-	1,537	321	-
	1993	5	300	4,208	568	-	431	94	-	1,604	330	-
	1994	6	300	3,763	602	-	430	113	-	1,679	362	-
	1995	7	300	3,391	603	-	404	83	-	1,700	363	-
	1996	8	300	2,624	516	-	425	127	-	1,713	428	-
	1997	9	300	2,269	462	-	433	131	-	1,723	464	-
	1998	10	300	1,451	366	-	404	147	-	1,694	488	-
	1999	11	300	1,341	412	-	429	159	-	1,712	591	-
	2000	12	300	772	270	-	376	183	-	1,656	621	-
	2001	13	400	616	286	-	380	228	-	1,628	717	-
	2002	14	400	701	343	-	426	259	-	1,703	1,003	169
	2003	15	400	750	395	-	445	305	-	1,709	963	174
2004	16	400	693	421	569	431	319	58	1,784	1,112	209	
2005	17	400	780	435	565	413	282	57	1,787	1,160	235	
2006	18	400	605	425	530	379	296	48	1,733	1,203	243	
2007	19	415	502	335	470	344	265	47	1,634	1,152	250	
2008	20	415	353	269	332	258	219	55	1,426	1,076	242	
2009	21	300	386	236	347	285	198	33	1,332	994	222	
2010	22	300	355	266	330	269	202	32	1,243	1,036	332	
2011	23	300	343	247	303	242	184	25	1,130	927	299	
2012	24	300	390	284	332	251	197	25	1,080	868	253	
2013	25	300	429	327	368	292	228	27	1,101	913	241	
2014	26	300	520	410	455	309	243	49	1,152	869	149	
2015	27	300	578	408	503	348	267	56	1,251	1,027	237	
2016	28	300	706	495	500	336	251	45	1,348	1,076	233	

1 入学者数と在学生数が一致していませんが、当時のデータ等確認が困難であるため、当該数字は長野大学30年誌から転載しています。
2 上田市には旧丸子町、真田町含む

(2) 長野県内高校出身者の推移(過去3年間)

	年度	定員	志願者数	入学者数	充足率	男女		地域比率				
						男	女	長野県内	県内比率	県外	大検	留学生
全学部	H28	300	706	336	112.0%	199	137	251	74.7%	82	1	2
	H27	300	578	348	116.0%	210	138	267	76.7%	76	1	4
	H26	300	520	309	103.0%	198	111	243	78.6%	61	1	4
社会福祉	H28	150	356	160	106.7%	68	92	117	73.1%	42	1	0
	H27	150	268	150	100.0%	58	92	109	72.7%	39	0	2
	H26	150	260	133	88.7%	71	62	102	76.7%	30	1	0
環境ツーリズム	H28	75	153	85	113.3%	59	26	52	61.2%	33	0	0
	H27	75	168	99	132.0%	80	19	73	73.7%	24	1	1
	H26	75	120	83	110.7%	59	24	62	74.7%	19	0	2
企業情報	H28	75	197	91	121.3%	72	19	82	90.1%	7	0	2
	H27	75	142	99	132.0%	72	27	85	85.9%	13	0	1
	H26	75	140	93	124.0%	68	25	79	84.9%	12	0	2

(3) 上田地域定住自立圏構成市町村出身者の推移(過去3年間)

	社会福祉学部 入学者			環境ツーリズム学部 入学者			企業情報学部 入学者			大学全体 入学者		
	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28	H26	H27	H28
総計	15	25	23	23	20	16	32	30	23	70	75	62
上田市	12	16	18	14	13	9	23	25	18	49	54	45
東御市	2	4	3	5	2	3	3	2		10	8	6
青木村							1	3		1	3	0
坂城町	1	3			2	1			3	1	5	4
長和町			1		2	1	1		1	1	2	3
立科町		2	1	1		2	3		1	4	2	4
嬬恋村				3	1		1			4	1	0

(4) 編入学生の入学状況(過去3年間)

	年度	定員	入学者	長野県内						県外 合計	大検	留学生
				県内合計	県内比率	北信	東信	中信	南信			
全学部	H28	300	336	251	74.7%	82	102	36	31	82	1	2
	H27	300	348	267	76.7%	92	117	38	20	76	1	4
	H26	300	309	243	78.6%	94	88	47	14	61	1	4
社会福祉	H28	150	160	117	73.1%	40	44	20	13	42	1	
	H27	150	150	109	72.7%	42	36	22	9	39		2
	H26	150	133	102	76.7%	46	27	21	8	30	1	
環境ツーリズム	H28	75	85	52	61.2%	14	24	4	10	33		
	H27	75	99	73	73.7%	21	37	7	8	24	1	1
	H26	75	83	62	74.7%	21	26	12	3	19		2
企業情報	H28	75	91	82	90.1%	28	34	12	8	7		2
	H27	75	99	85	85.9%	29	44	9	3	13		1
	H26	75	93	79	84.9%	27	35	14	3	12		2

(5) 在学生の推移

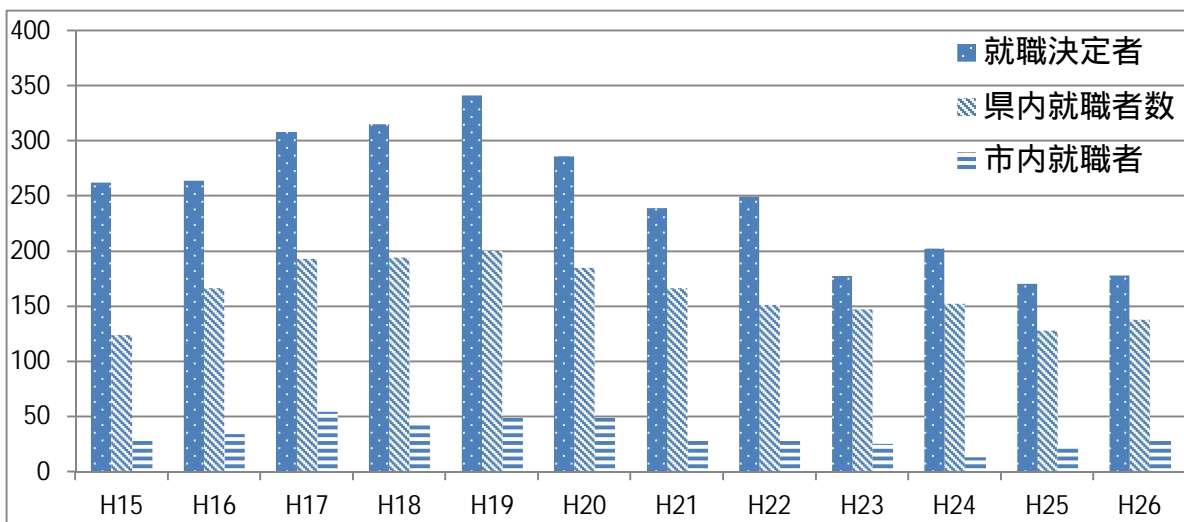
平成 23 年以降の 5 月 1 日現在(28 年は 4 月 1 日現在)の学生数

年次	総数	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年
H23	1,130	242	269	295	324
H24	1,080	251	245	266	318
H25	1,101	292	256	264	289
H26	1,152	309	296	254	293
H27	1,251	348	310	306	287
H28	1,348	336	351	316	345

3. 長野大学卒業生の県内就職者・上田市内就職者数

平成 15 年度以降の長野大学卒業生の県内就職者数及び上田市内就職者数は以下のとおりです。

就職を希望した学生の就職率は、平成 15 年度以降 90 パーセント以上を維持しており、就職決定者の県内就職者数は平成 23 年度から 70 パーセントを上回っています。(全国大学の地域内就職率は平均約 50 パーセント)



卒業年度	卒業生数	就職希望者	就職決定者数	就職決定者 (%)	県内就職者数	うち市内就職者
H15	347	286	263	92.0%	125	32
H16	362	288	265	92.0%	167	35
H17	384	320	309	96.6%	194	55
H18	401	326	316	96.9%	195	46
H19	422	347	342	98.6%	201	50
H20	368	299	287	96.0%	186	50
H21	326	265	240	90.6%	167	32
H22	350	260	250	96.2%	152	32
H23	264	188	178	94.7%	148	26
H24	265	209	203	97.1%	153	14
H25	231	175	171	97.7%	129	25
H26	237	182	179	98.4%	139	31

各学部の取り組み

社会福祉学部

【入学者の状況】定員：150名

区分	H24	H25	H26	H27	H28
志願者	223	176	260	268	356
入学者	127	113	133	150	160

【在学学生数の状況】H28.4.1現在

学年	1年	2年	3年	4年
総数	160	148	134	124
うち県内 ()割合	117 (73.1)	113 (76.4)	103 (76.9)	97 (78.2)
男性	68	59	71	59
女性	92	89	63	65

【卒業後の就職状況】平成27年3月卒業生

長野県出身者の県内就職率 92.6%

業界別進路 医療・福祉関係 70%、卸小売 6%、教育・学習支援 6%、公務 3%、その他

主な就職先 東京都特別区、佐久市役所、長野県社会福祉協議会、信州うえだ医療センター、
稲荷山養護学校、かりがね福祉会、恵仁福祉協会、JA 共済連長野 等

【地域における教育活動】

社会福祉基礎実習

2年生の学生を対象に、県内13市町村の福祉施設・団体・機関で実施しています。
福祉先進県である長野県の福祉モデルを現場で感じて、施設の役割や職員の仕事など福祉サービスを体験的に学習することが狙いです。

学校ふれあい体験

主に1年生の教職をめざす学生が、近隣の小中学校で児童・生徒とふれあいながら、特別支援学級での支援、通常学級での学習支援などを体験するボランティア活動を行っています。

【社会福祉学部の特徴】

社会が求める

「福祉の向上に寄与できる人材」を育成

〔コース〕

社会福祉コース

社会福祉の役割を総合的に考え行動できる人になる。

精神保健福祉コース

メンタルケアを通して優しく心を温められる人になる

子ども家庭福祉コース

子どもたちをさまざまな不安から護ってあげられる人になる

福祉心理コース

科学的な視点から心理の動きを見つめられる人になる。

特別支援教育コース

福祉マインドを発揮して教育現場で活躍できる人になる。

【学生による地域貢献活動】

学校支援ボランティア

上田市、青木村、坂城町、立科町の小中学校、養護学校に学校支援ボランティアとして学生を派遣するもので、平成 22 年度以降、継続的に取り組んでいます。ボランティア登録をした学生は、事前研修を経て、およそ 1 年間毎週ボランティアに通っています。

手づくり「支援機器」の製作と養護学校への贈呈

障害や自閉症などで会話に困難のある子どもたちが使用できる、手づくりのコミュニケーション支援機器を開発・製作しています。平成 26 年度は、製作した機器を地域の養護学校に贈呈しました。

【社会福祉士資格取得状況】

社会福祉士と精神保健福祉士の国家試験合格をめざす学生を支える「国家試験対策室」があり、1 月下旬に行われる国家試験に向けて、5 月から 1 月までの間、100 時間を超える「国家試験受験対策セミナー」を開催しています。

さらに学生が自主的に行う「勉強会（グループ学習）」の運営を支援し、自主的に実力を養う環境を整備。その結果、全国平均を上回る合格率を確保しています。

区 分	H23	H24	H25	H26	H27
合格者	27 名	34 名	37 名	36 名	35 名
社会福祉士合格率 (現役合格者)	38.6%	42.5%	61.7%	65.5%	67.3%
全国平均	26.3%	18.8%	27.5%	27.0%	26.2%

また、社会福祉士課程（昭和 63 年度～）精神保健福祉士課程（平成 11 年度～）の設置から現在までの合格者数（現役）と受験資格の取得者数は以下のとおりです。

区 分	合格者数(現役)	受験資格取得者
社会福祉士	800 名	2,576 名
精神保健福祉士	223 名	384 名

【社会的評価】

(独)日本学生支援機構「優秀学生顕彰」の受賞

(独)日本学生支援機構が、全国の大学、短大等を対象に優秀な活躍をした学生を表彰する制度で、「学術」「文化・芸術」「スポーツ」「社会貢献」の 4 分野が対象となっている。

年度	氏名	受賞テーマ
H25 年度	【社会貢献分野 奨励賞】 K・Kさん	視覚障害者に生じている生活のしづらさを解消するための活動
H22 年度	【社会貢献分野 大賞】 M・Mさん	スペシャルオリンピックスに参加する知的障害のある人たちの支援活動
H19 年度	【社会貢献分野 優秀賞】 M・Yさん	聴導犬の必要性や役割を啓発し、募金箱の設置や資料配布などの普及・広報活動

H18年度	【社会貢献分野 大賞】 S・Aさん	視覚障害者のガイドランナー活動
-------	----------------------	-----------------

環境ツーリズム学部

【入学者の状況】定員：75名

区分	H24	H25	H26	H27	H28
志願者	83	127	120	168	153
入学者	63	85	83	99	85

【在学生数の状況】H28.4.1 現在

学年	1年	2年	3年	4年
総数	85	101	82	111
うち県内 ()割合	52 (61.2)	79 (78.2)	65 (79.3)	87 (78.4)
男性	59	81	56	87
女性	26	20	26	24

【環境ツーリズム学部の特徴】

地域が求める

「持続可能な地域づくりを担う人材」を育成

〔コース〕

環境コース

自然を知り、守り、そして活かすことができる人になる。

観光コース

地域の魅力を活かした観光によるまちづくりができる人になる。

地域ビジネスコース

身近な資源を活用した新しい仕事をつくることのできる人になる。

【卒業後の就職状況】平成27年3月卒業者

長野県出身者の県内就職率 75%
業界別進路 サービス業 38%、卸小売 19%、運輸業 9%、公務員 6%、その他
主な就職先 上田市役所、日本郵便、JR 東日本、JTB、信州名鉄、ツルヤ、東急リゾートサービス、白川郷自然共生フォーラム 等

【地域における教育活動】

<p>上田の伝統野菜（山口大根、うえだみどり大根）普及活動</p> <p>「山口大根」は、長野県「信州の伝統野菜」に認定されている、上田市山口地区の在来種です。本学は平成15年「山口大根の会」発足構成メンバーとして当初から大根の普及活動に取り組み、学生たちのアイデアで料理コンテストの実施、漬け物、規格外の材料を利用したドレッシングや、上田の新物「山口大根おやき」などの商品化をおこなってきました。</p> <p>駅からハイキング（JR 東日本とコラボレーション）</p> <p>上田市の観光地（魅力）を歩きながら体験・体感してもらうために、平成22年からJR 東日本とのコラボレーションにより「駅からハイキング」を企画・実施しています。平成23年にはJR 東日本長野支社から感謝状が贈呈されました。</p>
--

河川環境の再生活動

新潟でサケを含む河川環境の再生に関わる活動を行う「新潟水辺の会」および上田道と川の駅の運営主体である「おとぎの里」と連携して、海と川を行き来する回遊魚であるサケを、千曲川中流域に戻すための取り組みを実施しています。平成24年度より、近隣小学校へのサケ卵・稚魚の飼育を通じた環境教育活動や、千曲川中流域における自然状態を模したサケの孵化場の研究開発、千曲川におけるサケ稚魚放流会のサポートなどを行っています。

被災地里山救済・地域性苗木生産プロジェクト「たねぶろじえくと」

平成25年に始動した取り組みで、上田地域の小学校（塩田西小学校など）宮城県白石市の白石第二小学校、被災地・宮城県山元町の小学校児童が被災地で採取した種子から苗木を育てて、数年後に被災地・宮城県山元町に植栽することによって、被災地に豊かな里山を再生させるプロジェクト。

西塩田地区の休耕地および里山の再生プロジェクト

地域のNPO法人「食と農のまちづくりネットワーク」と連携し、福島で被災し移住してきた農家の方たちと共に、西塩田地区の休耕地および里山の再生プロジェクトに取り組んでいます。獣の食害に強いエゴマの栽培と加工実験に取り組み、別所温泉の地域ブランド第一号商品として100%地産地消のエゴマ油を誕生させました。

【学生による地域貢献活動】

雪害からの農業再生ボランティア

上田市内で平成26年2月の大雪により、農業用ビニールハウスの倒壊など甚大な被害が発生したことを受けて、マンパワーに限界がある高齢な農業従事者を支援するために学生たちが地域の農業復興支援のボランティアを実施しました。

【社会的評価】

(独)日本学生支援機構「優秀学生顕彰」受賞

年度	氏名	受賞テーマ
H24年度	【社会貢献分野 奨励賞】 T・Kさん	大学のキャンパス内にある里山「AUN 長野大学恵みの森」の自然を活用し、「草木染め」や「堆肥づくり」を通して地域の方々と交流しながら環境保全の理念を発信。

農林水産省「食と地域の『絆』づくり」で優良事例に選定（平成22年）

農林水産省「食と地域の『絆』づくり」優良事例選定とは、『絆』に着目してグループなどの結びつきによる地域活性化の取り組みを先駆的事例として選定し、奨励するもの。公募で80団体の応募があり、その中から20都道府県の23事例が選定され、環境ツーリズム学部古田睦美ゼミナールの活動「地大根の料理イベントとレシピ集作りによる地域活性化」が選定されました。

「信越観光圏 旅行商品企画コンペ」最優秀賞受賞（平成 25、27 年）

長野新幹線延伸に向けて滞在交流型観光の促進を目指す信越観光圏協議会（長野県、新潟県内の 16 市町村で構成）が開催する「信越観光圏 旅行商品企画コンペ」に、環境ツーリズム学部観光コースの学生が提案したプランが最優秀賞を受賞しました。

企業情報学部

【入学者の状況】定員：75 名

区 分	H24	H25	H26	H27	H28
志願者	84	126	140	142	197
入学者	61	94	93	99	91

【在学生数の状況】H28.4.1 現在

学 年	1 年	2 年	3 年	4 年
総 数	91	102	100	110
うち県内 ()割合	82 (90.1)	89 (87.2)	91 (91.0)	98 (89.1)
男 性	72	74	71	75
女 性	19	28	29	35

【企業情報学部の特徴】

企業が求める

「問題解決能力をもつ人材」を育成

〔コース〕

経営コース

多彩なビジネスに対応する経営感覚を備えた人になる。

情報コース

CG やネットワーク技術を基盤にして社会に役立つソフトウェアを開発できる人になる。

デザインコース

自由な発想やデザインで自分を表現できる人になる。

【卒業後の就職状況】平成 27 年 3 月卒業者

長野県出身者の県内就職率 87.5%

業界別進路 卸小売 33%、製造 16%、情報通信 12%、運輸・郵便 8%、サービス 6%、その他

主な就職先 長野県警察、スクウェア・エニックス、長野プロパンガス、ヤマト運輸、名古屋製酪、アート金属工業 他

【地域における教育活動】

上田バス株式会社との連携プロジェクト～上田バス車体の新デザイン

上田バス株式会社と草軽交通株式会社の産学連携プロジェクトで、平成 25 年に、上田をイメージした 40 作近いバスの車体デザインを提案した。その中から「貸切バス」と「路線バス」の新デザインが同プロジェクトで誕生しました。

佐久グランドホテルとコラボレーションプロジェクト

平成 26 年に佐久グランドホテルが創立 30 周年を迎えるにあたり、同ホテルがさらに地域に愛されるホテルとなるべく、「お客様にして欲しい思い」を基礎に、同ホテルの事業力や佐久の地域資源を活かしたウェディング事業、宿泊事業等を提案し、商品化しました。

小諸城デジタルアーカイブプロジェクト

平成 26 年に始動した取り組みで、小諸フィルムコミッションと協働で進める小諸城をデジタルアーカイブするプロジェクト。小諸城を記録した古文書や絵図録をもとに城のデジタルアーカイブを行っています。

坂城町工業案内パンフレット

「ものづくりの町・坂城」を広報すべく、平成 26 年度より、長野大学の学生と、坂城町、「テクノハート坂城協同組合」らが共同で「坂城町工業案内パンフレット」を製作しています。完成したパンフレットは、製作に関わった学生が坂城町長に手渡しました。

【社会的評価】

(独)日本学生支援機構「優秀学生顕彰」受賞

年度	氏名	受賞テーマ
H27 年度	【学術分野 優秀賞】 S・Tさん	既に失われている歴史建造物(小諸城)の形状情報、材質・質感、照明環境をCGで復元し、没入空間で対話的に体感できる技術を開発した。また「信州未来アプリコンテスト0(ゼロ)」においては、「長野県知事賞」を受賞した。
H26 年度	【学術分野 優秀賞】 M・Sさん	文化財の劣化状態を分光分析に基づいてCG再現できるようにし、また、古い工芸作品を高精度にデジタルアーカイブする技術を開発した。
H25 年度	【学術分野 奨励賞】 Y・Rさん	航空機の操縦席から見える様々な視界を再現するシステムを開発した。
H24 年度	【学術分野 大賞】 T・Sさん	スマートフォンで撮影した画像をもとに、ヘモグロビンや血中酸素飽和度が測定できるアプリケーションを開発。肌の表面状態を計測し、測定したデータから貧血などの症状を手軽に診断できるようにした。
H23 年度	【学術分野 奨励賞】 T・Sさん	デジタルアーカイブ技術のマルチプラットフォーム化により、スマートフォン等の性能面で制約のあるシステム環境において、美術品や人間の肌を計測データに基づいて精密に3DCG再現する技術を開発した。
H22 年度	【学術分野 奨励賞】 M・Tさん	複合現実技術を用いて分光レンダリングする際に生じる、色再現精度向上に関する研究。分光的に再現することで、色再現精度の向上を実現した。

H21 年度	【学術分野 優秀賞】 M・Hさん	美術品や文化財の反射特性を計測・記録・分析し、それを基に高精度な 3DCG で画像再現するデジタルアーカイブ技術の開発。
	【学術分野 優秀賞】 G・Mさん	源の空間分布と分光分布の推定に関する研究。分光感度が未知の RGB カメラによりシーン内の光源の空間分布と分光分布を高精度に推定することが可能となった。
	【学術分野 奨励賞】 A・Tさん	人間の肌の反射特性を計測データに基づいて明かにし数学モデルとして定式化。
H20 年度	【学術分野 優秀賞】 M・Hさん	コンピュータグラフィックス分野の研究

「LIFE DESIGN 信州 2014」で「ユニバーサルデザイン賞」グランプリ受賞

「LIFE DESIGN 信州」は、信州の地域資源を素材とするデザインを選考するコンペ。8回目となる平成 26 年度のテーマは、「信州 + 北陸~新デザインの可能性~」。当該コンペにおいて企業情報学部デザインコースの学生の作品が「ユニバーサルデザイン賞」のグランプリを受賞しました。

「企業家甲子園」に出場し、「KDDI Labo 賞」を受賞（平成 27 年）

「企業家甲子園」は、全国から選抜された高専学生、大学生及び大学院生等が、ICT を用いて自ら開発した商品・サービスをプレゼンテーションにより競い合う起業家候補生によるビジネスプランコンテストです。「お肌診断アプリ」を開発し、見事地方予選を突破した企業情報学部の学生チームが出場し、高い評価を得ました。

．長野大学の地域貢献活動

長野大学は、昭和 41 年に公設民営大学として開学して以来、信州・上田の地において約 50 年にわたって地域と共に歩んできました。本学は、「地域貢献」を建学の理念に掲げ、「地域に根ざした大学」として様々な活動・取組をおこなってきました。

その結果、平成 27 年 12 月 7 日発行の「日経グローバル」誌で、日本経済新聞社産業地域研究所が行った「大学の地域貢献度ランキング」において、私立大学部門第 1 位（総合ランキング第 10 位）（**私立大学部門 6 年連続第 1 位**）となりました。

この調査は平成 18 年より毎年実施されており、今回は全国 751 大学を対象に各大学の地域貢献度について下記の 4 項目の観点から評価し、ランキングしたものです。

「大学組織・制度」項目：地域貢献に取り組む組織の充実度

「学生・住民」項目：学生の地元企業の就職や、災害支援の実績

「企業・行政」項目：産学官連携や大学ベンチャー企業との連携実績

「グローバル」項目：留学生の就職支援や地域の国際化への取り組み

総合順位	大学名	国公私別	本部所在地
1	信州大学	国立	長野県松本市
2	宇都宮大学	国立	宇都宮市
3	兵庫県立大学	公立	神戸市
4	群馬大学	国立	前橋市
5	長崎大学	国立	長崎市
6	徳島大学	国立	徳島市
7	岩手大学	国立	盛岡市
8	北九州市立大学	公立	北九州市
9	大阪市立大学	公立	大阪市
10	長野大学	私立	長野県上田市

（日経グローバル No281 より作成）

地域貢献度ランキングを牽引している主な理由

- (1). 地域連携センターの前身である「生涯学習センター」を平成 5 年に設置して以来、約 20 年にわたって地域住民向け講座を開講し、地域に密着した取り組みを行ってきたこと。
- (2). 3 学部の教育内容に、地域貢献をテーマにした教育活動をカリキュラムに組み込んでいること。
- (3). 高い地域内就職率を維持していること。
- (4). ゼミを中心とした地域活性化を図る取り組みや商品開発などの取り組んでいること。
- (5). 住民向けに取り組んでいる地域貢献や社会貢献事業
 - 学術講演会・シンポジウム・フォーラムの開催
 - 公開講座の開催
 - 小中高校生向け講座の開催
 - 出前講座の開催（小中高校生向けを除く）
 - キャンパスを利用したイベントの開催

地域貢献に関する取り組み

長野大学は、各学部の学びや研究内容などの交流を促進し、まちづくりや地域活性化、人材育成に寄与するため、地域の自治体や団体と協定を締結してきました。活動内容は、まちづくりや地域活動、生涯学習に関すること、地域共生など地域のニーズに即した活動を行っています。

1. 自治体との協定

➤ 上田市との連携

平成17年3月に、包括的連携に関する協定書を締結し、地域づくり、情報、健康福祉、環境・観光の4分野について連携・協働に基づき様々な活動に取り組んでいる。

また、平成20年1月に官学連携の拡大による魅力的な上田地域づくりを推進するため「信州の学海」プロジェクトを締結し、「学校支援ボランティア」や「上田4大学リレー講座」などを行っている。平成27年度より、上田市と地方創生事業について連携し、地方自治体との取り組みをより一層強化している。

➤ 坂城町との連携

平成18年10月に、研究及び教育の実践モデル都市に関する協定を締結し、まちづくりや地域活動、生涯学習支援、健康、福祉、教育、環境、情報、経営等について連携を通じ、「長期総合計画」の策定、「坂城町講座（経営、語学、スポーツなど）」や「学校支援ボランティア」などの活動に取り組んでいる。

➤ 青木村との連携

平成19年8月に、相互の発展に資するため、社会資源および研究成果等の交流を促進し、福祉、教育、学術の分野等において連携・協力するために社会福祉学部と協定を締結し「学校支援ボランティア」などの活動に取り組んでいる。さらに、平成27年2月には、地域の課題解決のために活躍する人材育成をめざし、全学的な協定締結を行っている。

2. 地域団体との協定

➤ 立科町商工会との連携

平成21年12月に、相互の発展に資するため、社会資源および研究成果等の交流を促進し、観光、環境、健康、教育、産業、学術の分野で連携・協力するために協定を締結し「ホームステイ中国語会話」「地域活性化講演会」などの活動に取り組んでいる。

➤ 鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトとの連携

平成24年3月に、鹿教湯温泉100年ブランド創造プロジェクトと、相互の発展に資するため、社会資源および研究成果等の交流を促進し、デザインによる観光振興、まちおこし、地域づくり等の分野で連携するために協定を締結し、「デザインを通じた観光地域づくり」をコンセプトに様々な活動に取り組んでいる。

➤ 別所温泉活性化プロジェクトとの連携

平成27年12月に、別所温泉の地域の発展や人材の育成に寄与することを目的として連携協定を締結した。これまで本学が同地区で取り組んできた、農業再開支援、休耕地の解消などの活動を発展させて、別所温泉の観光振興およびオリジナルブランドづくりに取り組む。

➤ 上田市稲倉の棚田保全委員会との連携

平成 28 年 3 月に稲倉の棚田保全委員会と協定を締結した。これにより上田市の連携協定と併せて全国初の農学官連携となった。日本の棚田百選に選定されている上田市大字殿城地区の棚田保全活動を通じて、農村デザインによる地域づくりの分野で相互に協力し、農村のデザインを研究発信するとともに、地域の発展と人材の育成に取り組む。

3. 地元地域における活動

➤ 「学生地域くらし創り考房(こうぼう)こみっと」の活動

平成 15 年 4 月、地域に根ざした文化や生活を学び、新たな地域づくり運動を興したいと、長野大学の研究生や学部学生を中心に発足した地域づくりグループ。現在、多数のゼミやサークルが加盟しており、長福寺(上田市下之郷)の境内の中にある、ネットワークハウス「縁舎(えんしゃ)」を拠点に、地域づくりに関する自発的な研究や、地域行事への参加などの活動を行っている。

地域の小中学校・高校との連携について

高校大学間の相互交流と教育内容の一層の充実を図ることを目的として県内各校 9 校と協定を締結し、訪問講義の実施や教員研修、高校の環境・観光・福祉・総合学習、高校生と本学学生の合同調査などを行っています。

【協定先：東御清翔高校、坂城高校、蓼科高校、軽井沢高校、中野立志館高校、高遠高校、エクセラン高校、丸子修学館高校、佐久平総合技術高校】

また、県内の小中学校に対しても総合学習等において、教員を派遣し支援を行っています。

地域の企業や団体などと連携・共同して開発した商品・サービス(抜粋)

「山口大根」を使用した商品開発

環境ツーリズム学部の学生達を中心となって、信州の伝統野菜である山口大根を活用し、市内の菓子舗やNPOなどと「切干しおやき」「漬物」「ドレッシング」を開発した。

「うえだみどり大根」を使用した商品開発

環境ツーリズム学部の学生達を中心となって、信州の伝統野菜であるうえだみどり大根を活用し、「パウンドケーキ」「ソフトクリーム」を開発した。

真田羽織・雁金

企業情報学部の学生達を中心となって、地域企業や市職員のアドバイスをもらいながら、地域活性化商品として、真田幸村の甲冑をイメージした企画・試作品を完成させ、販売した。

「上田薬草の会」新商品「真田丸詣り」のパッケージデザイン

上田薬草の会が上田市で栽培した地黄(ジオウ)を使用して開発した入浴料、化粧品の商品のパッケージを企業情報学部の学生達を中心となってデザインした。

しなの鉄道「グッドマナーキャンペーン」のポスター制作

しなの鉄道が実施した列車利用マナー向上を図るキャンペーンにおいて、本学のデザインサークルの学生達が、駅構内と電車内に掲示する啓発用ポスターを制作し、期間中(1ヵ月間)掲示された。

蚕都バーガー

企業情報学部の学生達を中心となって、養蚕が盛んであった、上田地域にちなんだ蚕都バーガーを地域のパン屋さんや、カフェと共同で開発し、地元のイベントなどで販売した。地域になじみのある桑の葉や野菜を使用している。

ため池フェスティバル ため池氷

地域住民と共同で開催した「ため池フェスティバル」において、環境ツーリズム学部の学生たちが地元企業とのコラボで、ため池をイメージした商品を開発した。生食用では規格外となる小粒の完熟イチゴを使用するなど食材の有効活用にも貢献している。

地産地消のオリジナルスイーツ「シソフロズン」

地元の道の駅を拠点とした観光地域づくりの活動に協力し、環境ツーリズム学部の学生たちが、地産地消のオリジナルスイーツを開発し、同道の駅における屋台スペースで販売した。

学生サークルのボランティア活動（抜粋）

➤ ボランティア系サークルの地域貢献活動

長野大学リーダーズクラブ（児童系）

地域の子どもたちが参加できるイベントの企画・運営を行っている。

【主な活動内容】

- ・上田城跡公園でのこどもまつり
- ・塩田地区の小学生を招いて別所温泉ウォークラリーの実施
- ・塩田地区の小学生を招いてクリスマス会の実施
- ・その他保育園や幼稚園でのボランティア など

ひこうきぐもの会

月に2回上田市社会福祉協議会で障害のある利用者と交流をしている。

【主な活動内容】

2ヶ月に1回程度、利用者が参加するイベントを企画している。

（節句の会、七夕の会、お月見の会、クリスマス会、節分の会など）

信州ライポ隊

警察と連携して、非行少年の立ち直り支援や特殊詐欺の防犯啓発活動等を行っている。

【主な活動内容】

- ・稲倉棚田で少年たちと田植えボランティア
- ・タクシー運転手を対象に特殊詐欺防止のチラシ配布
- ・親子を対象に特殊詐欺防止のチラシ配布
- ・妙覚寺で少年たちと座禅、写経を体験 など

➤ 強化指定部（女子バレーボール部）の地域貢献活動

- ・坂城町講座「楽しいバレーボール講座」、坂城中学校への部活動指導

➤ 吹奏楽部のボランティア活動

週に3,4回長野大学で練習。長野大学祭や卒業式での演奏の他、高齢者施設や児童センターでの訪問演奏も行っている。

【主な活動内容】

- ・しものごう敬老園での演奏会
- ・ベルポートまるこ夏祭りでの演奏
- ・東塩田児童センタークリスマス会での演奏 など

その他

- 大学施設（体育館・グラウンド・教室・会議室等）の地域への開放
- 大学図書館の一般利用
- 地域連携センターによる「連続講座」「公開講座」「講演会」の開催
- 大学講義を市民に開放（「市民開放授業」）